

行きたくなる学校づくりにおける2つの取組

〈未然防止〉 すべての児童生徒

居場所づくり

学級や学校をすべての児童生徒にとって落ち着ける場所にしていくこと

教職員主導

絆づくり

日々の授業や行事等においてすべての児童生徒が活躍し互いに認め合える場面を実現すること

児童生徒主体
場と機会の設定（教職員）

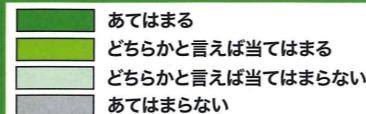
〈初期対応〉 不登校の兆しが見えた児童生徒

初期対応の例

- ・担任だけではなく、児童生徒の初期サインを見逃さない複数の教職員による体制づくり
- ・気になる児童生徒は早期のチーム会議による情報共有と適切な手立ての見立て
- ・SCやSSW等との早期の連携
- ・家庭との連携、電話相談、家庭訪問等

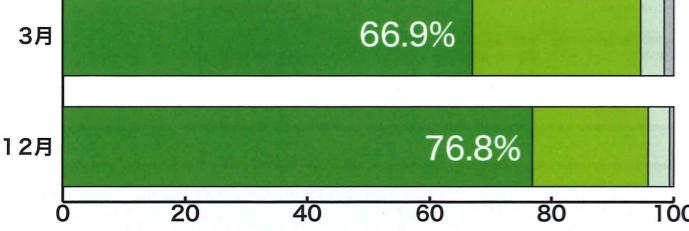
令和元年度意識調査結果の推移

(歌津中学校区を含む南三陸町全体の結果・南三陸町重点項目ウ・エ)

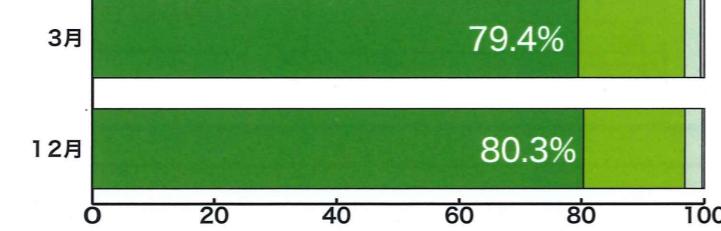


小学校

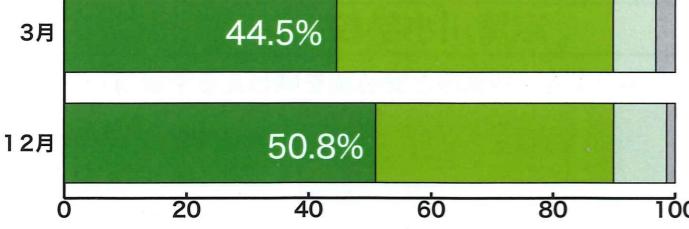
ア 学校が楽しい



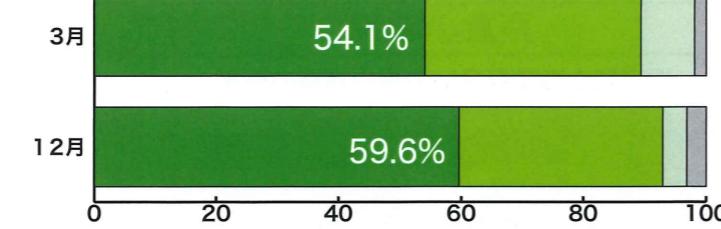
イ みんなで何かをするのが楽しい



ウ 授業に主体的に取り組んでいる

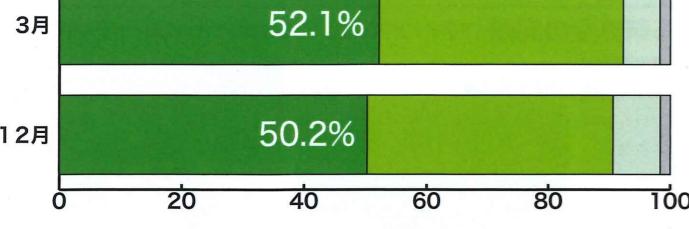


エ 授業がよくわかる

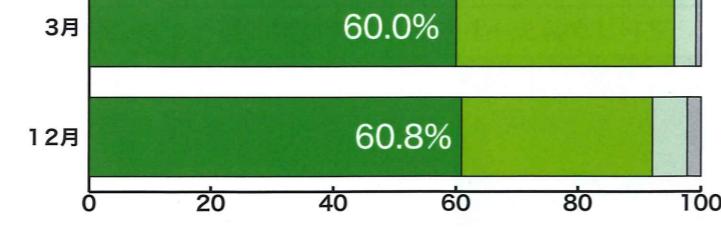


中学校

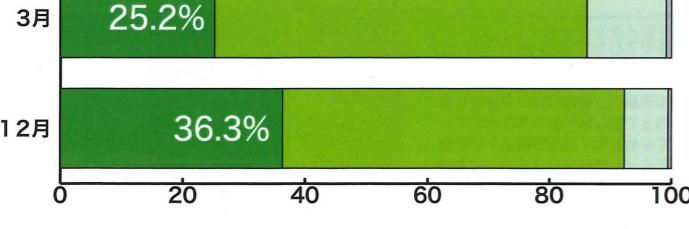
ア 学校が楽しい



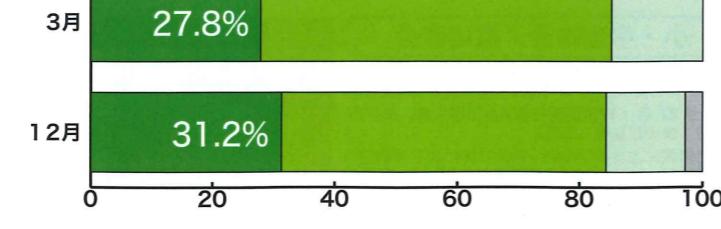
イ みんなで何かをするのが楽しい



ウ 授業に主体的に取り組んでいる



エ 授業がよくわかる



新たな不登校を生まないための取組

できた！わかった！授業が楽しい！

～「居場所づくり」「絆づくり」を視点とした授業改善～



南三陸町モデル地区
拠点校 南三陸町立志津川小学校
連携校 南三陸町立志津川中学校

南三陸町立戸倉小学校 南三陸町立入谷小学校

「行きたくなる学校づくり」とは～新たな不登校を生まないために～

南三陸町全体の不登校児童生徒数は年々増加し、特徴としては、中学校進学後に急増する傾向にあります。これまで、各学校では、不登校児童生徒に対する細やかな自立支援により、不登校の継続数は減少しています。

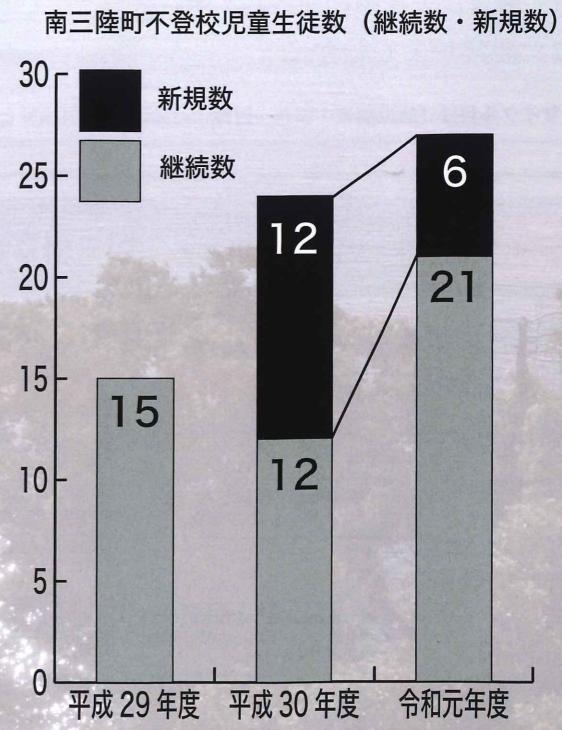
(H29<15人>→H30<12人>) 継続数3人減

(H30<24人>→R1<21人>) 継続数3人減

にもかかわらず、総数が年々増加しているのは、毎年新たに不登校になる児童生徒がいることが大きな要因のひとつです。

南三陸町では、宮城県教育委員会の指定を受け、志津川中学校区4校をモデル地区とし、町全体で「行きたくなる学校づくり」に取り組んできました。南三陸町は、児童生徒が「できた！わかった！楽しい！」と思える「授業づくり」を通して、すべての児童生徒の「心の居場所」「絆づくりの場」としての「学校づくり」を目指しています。

年間3回のPDCAサイクルによる実践を通して授業改善等に取り組み、その結果、令和元年度の新規不登校児童生徒数は、前年度の半分 (H30<12人>→R1<6人>) に減りました。



行きたくなる学校づくりの実践

未然防止と初期対応のための年3回のPDCAサイクル

学期の取り組みが成果を挙げているかを意識調査で検証し、課題・目標・行動計画の点検・見直しを年3回実施します。この過程で教員の思い込みや認識のズレが修正され、共通理解による実践が進みます。



CHECK 意識調査・課題→行動計画 PDCAサイクル (1)(5)(9)(13)

年3回の意識調査を実施し児童生徒の実態を把握します。取組の浸透度を表す「児童生徒からのメッセージ」となります。

〈調査項目〉
 ア 学校が楽しい
 イ みんなで何かをするのが楽しい
 ウ 授業に主体的に取り組んでいる
 エ 授業がよくわかる

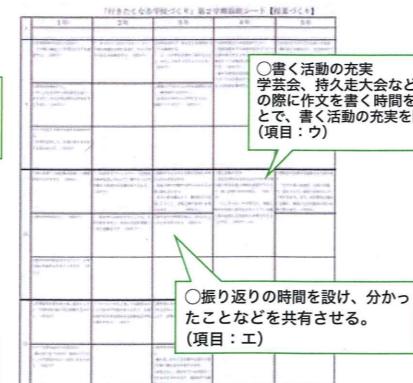
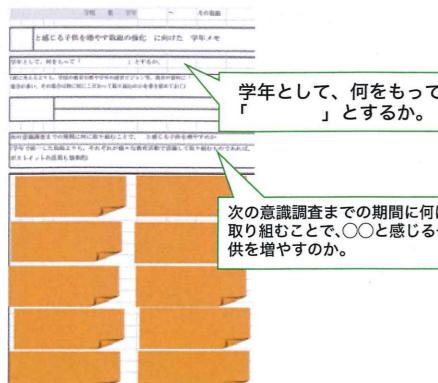
〈調査項目ごとの回答選択肢〉
 ア あてはまる
 イ どちらかと言えば、あてはまる
 ウ どちらかと言えば、あてはまらない
 エ あてはまらない

※1サイクル目は「意識調査・課題→目標・行動計画がPLANとなります。

CHECK ACT 点検・見直し

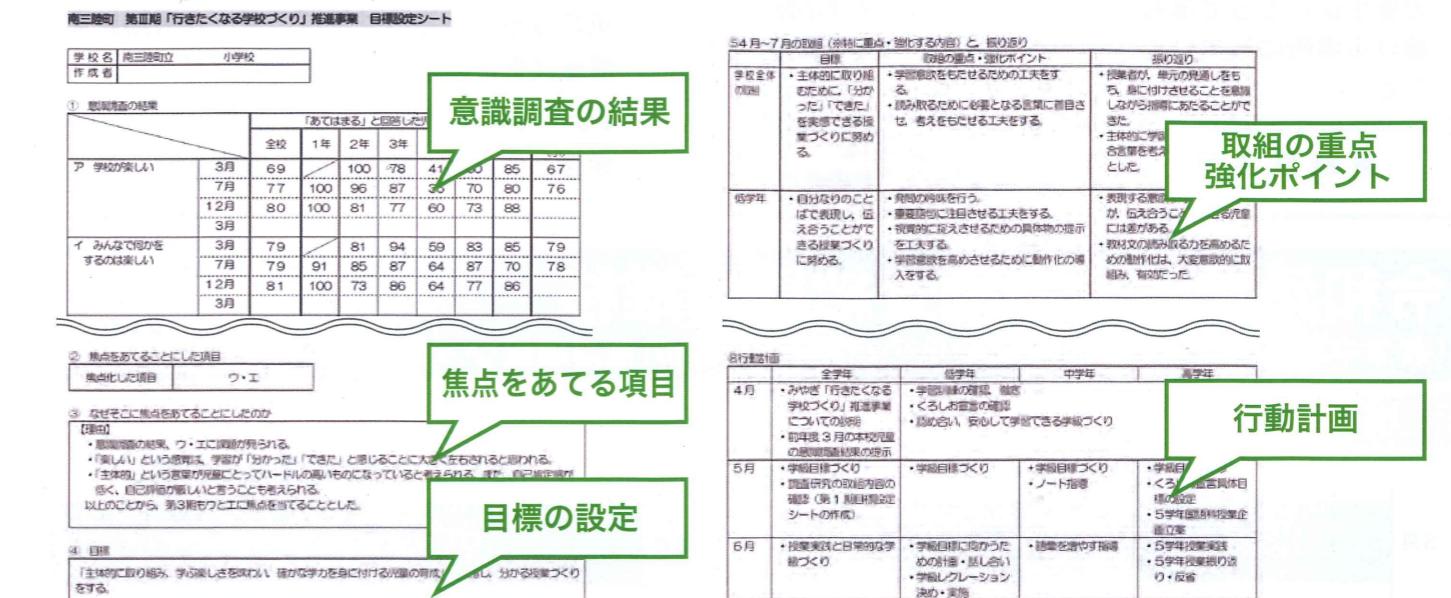
PDCAサイクル (2)(6)(9)(10)

「取組チェックシート」を活用し、学級、学年、学校の取組を振り返り、目標設定シートの作成に生かします。



ACT PLAN 目標設定シート・行動計画の作成 PDCAサイクル (3)(7)(11)

意識調査の結果に基づいて、課題分析、目標設定、重点強化する内容について協議し、計画表を作成します。



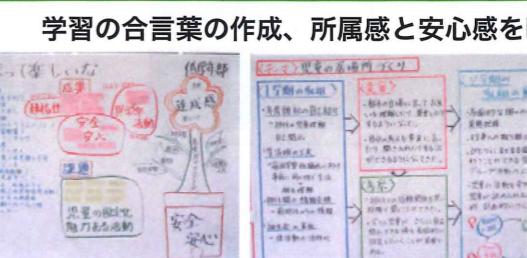
DO 実行「居場所・絆・授業づくり」の実践例 PDCAサイクル (4)(8)(12)

戸倉小学校



児童同士の学び合いや個別指導の充実

志津川小学校



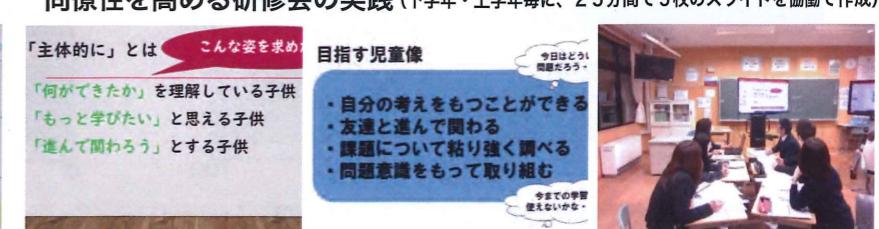
学習の合言葉の作成、所属感と安心感を味わえる学級づくり

志津川中学校



マトリクスシートを活用した授業改善

入谷小学校



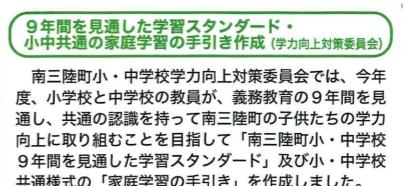
同僚性を高める研修会の実践（下学年・上学期毎に、25分間で5枚のスライドを協働で作成）



小・中連絡会／担当者会



小・中連絡会：気仙沼教育事務所指導主事、町教育委員会、南三陸町立小・中学校7校の担当者（年間5回）
 担当者会：町教育委員会担当指導主事、モデル地区4校の担当者（随時）
 兼務教員による授業参観：兼務教員による連携校の授業参観・検討会及び各校研修会への参加と授業改善等への助言



9年間を見通した学習スタンダード・小中共通の家庭学習の手引き作成（学力向上対策委員会）
 南三陸町小・中学校学力向上対策委員会では、今年度、小学校と中学校の教員が、義務教育の9年間を見通し、共通の認識を持って南三陸町の子供たちの学力向上に取り組むことを目指して「南三陸町小・中学校9年間を見通した学習スタンダード」及び小・中学校共通様式の「家庭学習の手引き」を作成しました。

